



### (1) 文化芸術活動の推進、文化芸術を育む人材の育成 《施策 23》

<p>主な取組 ・事業 実施状況</p>	<p>○子ども文化事業の実施 ・子どもの文化芸術活動を推進するため、ふくおか県民文化祭で鑑賞・発表事業、芸術体験講座を実施 （鑑賞・発表事業：4市町、芸術体験講座：小学校9校、中学校1校、特別支援学校2校計12校）</p> <p>○県立美術館の機能の充実 ・「どこでもケンピ」（バーチャル美術館事業）を運用（年間アクセス数111,832件） ・「ひつじのショー 展」等の各種展覧会を実施（年間入場者数72,397人）</p> <p>○中学校文化連盟<sup>注1)</sup>、高等学校芸術・文化連盟<sup>注2)</sup>への支援 ・芸術文化活動の振興のため中学校文化連盟や高等学校芸術・文化連盟への助成</p> <p>○古代日本の「西の都」魅力発信事業の実施&lt;重点事業18&gt; ・日本遺産コーナーの設置、構成文化財の解説板の設置、魅力あるサブストーリーのホームページ掲載に加え、民間人材をコーディネーターとして登用</p> <p>○九州歴史資料館の利用促進、調査・研究の充実 ・九州歴史資料館において、特別展（船原古墳とかがやく馬具の精華）や教育普及講座（名誉館長講座等）等を開催（入館者数40,269人、うち特別展9,619人） ・小・中学校の来館学習・出前授業・オンライン授業、出前講座等の実施（参加者9,074人）</p> <p>○旧福岡県公会堂貴賓館の利用促進 ・指定管理者によるフラワーレッスン、朗読会、コンサート等自主事業の実施</p>
<p>成果</p>	<p>○九州歴史資料館では、展示をはじめ、イベント、動画配信、学校への普及活動を通して歴史文化遺産の魅力を様々な方法で発信しました。</p> <p>○旧福岡県公会堂貴賓館では、指定管理者による来館促進事業に加え、新聞・TV等へのニュースリリースなど、広報活動に積極的に取り組み、過去最高の入館者数（32,458人）を記録しました。</p>
<p>今後の課題 ・対応</p>	<p>●九州歴史資料館における新規来館者の開拓及び学校等との連携促進 ・県内市町村や国立博物館、他県施設と連携した展示・講演会のほか、学校や民間企業と連携したイベント等を実施するとともに、ホームページやSNS等を用いた広報活動の一層の充実を図り、新規来館者の開拓につながる効果的な情報発信を行います。</p> <p>●「西の都」に関する地域との連携強化・認知度向上 ・コーディネーターと協働して地域活動ワーキングを開催し、地域の民間事業者等との連携を強化するとともに、調査研究や展示、シンポジウムを通して「西の都」の魅力・認知度の向上を図ります。</p> <p>●県民の美術鑑賞の機会の確保、県民の創作意欲の向上 ・県立美術館では、多くの来館者に満足いただける展覧会を開催するとともに、ホームページやSNSを通じた情報発信、移動美術館などを実施し、県民の美術に関する鑑賞・創作活動を更に促進します。</p>

指標	現状値（R5年度※）	目標値	達成状況
<p>【県立美術館の利用】 県立美術館入館者数</p>	<p>72,397人 (R4:107,872人)</p>	<p>160,000人 (R8年度)</p>	<p>○</p>

※ 改修工事のため、約5か月休館

注1) 中学校文化連盟：県内の中学校及び特別支援学校中学部の生徒の文化活動の振興・発展を図ることを目的に、福岡県中学校総合文化祭等の事業を行っている団体。美術や音楽等11の専門部を有する。

注2) 高等学校芸術・文化連盟：県内の高等学校及び高等部を設置する特別支援学校における芸術文化活動の振興を図ることを目的に、福岡県高等学校総合文化祭等の事業を行っている団体。演劇や吹奏楽等19の専門部会を有する。